

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2297200368		
法人名	(有)ナチュラルケア浜松		
事業所名	グループホーム安寿		
所在地	静岡県浜松市中区高丘北2丁目16-4		
自己評価作成日	平成28年2月15日	評価結果市町村受理日	平成28年4月12日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利活動法人 しずおか創造ネット		
所在地	静岡県静岡市葵区千代田三丁目11番43-6号		
訪問調査日	平成28年2月25日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

認知症高齢者の特性に配慮した住みよい住居を提供し、個々の尊厳を守り穏やかで心静かな生活が送れるよう、生活の介護・援助、疾病、災害時の対応と処遇に万全を期することを基本方針とする。また、地域安寿会を定期的  
に開催することにより地域、御家族、施設が一体となって地域に根付いたホームになるよう心掛けている。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

施設は住宅地の中にあり、他の住宅と違和感のない作りとなっています。地域住民と良好な関係を持たれ、地区のお祭りなどでご利用者と近隣住民と一緒に楽しめる風景が確認できました。  
平成26年にリフォームをされ増築を行う事で共有スペースが広くなりまた避難用滑り台の設置など大幅な改修が行われました。  
一人ひとりの職員がご利用者のこれまでの生活を大切に、それぞれの思いを共有できる関わりを目指されています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「尊厳のあるその人らしい穏やかな生活」という理念にそった支援が出来るようスタッフ同士情報を共有し、取り組んでいる。	「その人らしい」とはご利用者の大切にしている価値観を大切にすることとらえ、スタッフの都合でケアを進めるのではなく、ご利用者の思いを聞き取るケアを実践されています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設の裏が遊歩道のため散歩へ出かけた近隣のスーパーでの買い物にて地域の方との交流を持っている。	地域の秋祭りでは山車が施設前を通過することから、施設前の駐車場に席を設け地域の方と共に楽しめます。施設の時間に合わせ山車のコースが変更されます。また自治会の草取りにご利用者、職員が参加されるなど地域の一員として活動され、良好な関係を築かれている様子が伺われます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	推進会議などで地域の方へ発信出来るような機会を作る話し合いをしていかなければならない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を行い、御家族や地域の意見を活かせるよう心掛けている。	会議は地区の民生委員、班長、地域包括支援センターや行政の職員が参加されます。施設の報告や情報交換が議題となり、会議によりご利用者が行方不明になった際の施設、地域、行政との連携方法の確認がなされています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	定期的に介護相談員の方がみえ利用者のお話を聞いていただいている。	行政窓口へ訪問するなど顔が見える関係作りをされています。介護相談員の方は、職員が聞き取ることができないご利用者の要望や心配事などを聞き取ることができるため、情報を共有することでケアの向上が図られています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	柵などの拘束は勿論、言葉によるスピーチロックにも注意している。	基本的に身体拘束は行わない方針で運営されています。徘徊や危険な行為がある場合もケアを工夫されることで対応されています。徘徊のあるご利用者に対しては職員間で様子を共有し、その原因となるストレスがたまる前に気分転換できる声掛けや対応が行われています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束0宣言のポスターの掲示。虐待とは何かなど勉強会が開かれ、スタッフ同士コミュニケーションを増やしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご利用者の中に制度を利用されている方はいるが全職員の学ぶ機会は持っていない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者やご家族のお話を十分に伺ったうえで安心して過ごしていただけるよう努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者の言葉での不満だけでなく様子やうかがい口に来ないことはないか原因を探り解決できるよう努めている。	管理者が年末にご家族のお宅へ訪問し、直接話を伺う機会を持たれています。要望があった場合はリーダーやチーフが内容を随時検討し解決されています。要望により肉料理の嫌いなご利用者には他のメニューを提供するなどの対応をされています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に職員との個人面談を設けている。	管理者の方が各職員と3か月に1回の頻度で個人面談を行います。これにより職員に合った勤務に変更したり効率的に業務が出来るような物品の購入を行うなど、職員が長く務めることが出来るような環境作りを目指されています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期面談時に職員の状況を聞き取り個別に把握し勤務体制など研修を受ける機会を把握している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のレベルに応じて社内研修を実践している。また、実践者研修や管理者研修等の外部研修を受ける機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	施設見学の受け入れを行い外部の職員と交流している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の話しやすい雰囲気作り受け止める努力をしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談の段階からご家族より困っている事や要望等の聞き取りを行い関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現時点でご本人に合わせた必要な支援を見極めサービスを行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ケア目標「ゆっくり・一緒に・楽しく」を目標とし時には職員がご利用者様から支えられたりする場面もありお互いに支え合う関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の状況も理解しつつ必要に応じて職員が間に入りより良い関係が築けるように努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人、友人やご家族の訪問手紙のやり取りを行っている。	入居によりこれまで住んでいた地域とのつながりが切れてしまうことがないよう、これまでの友人へ電話連絡をご利用者とそのご家族の希望により積極的に支援をされています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士の関係を把握し、ご利用者同士がお互い助け支え合う場面を作れるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も関係を絶たずお付き合いを大切にしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者一人一人の生活歴なども把握しご本人の希望や意向もくみ取れるよう努めている。	職員がご利用者の思いを聞き取ることで意向をくみ取ります。情報は連絡ノートで共有し職員間で方針を話し合われます。買い物や行きたい所などの要望が寄せられ、ご家族と協力をを行いながら対応されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご本人やご家族から聞き取りを行い生活歴や馴染みの暮らし等把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々変化するご利用者様の状態を常に把握し個々に対応するように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の表情や言動の原因把握に努め意見やアイデアを出し合いご家族の要望も反映させながら介護計画を作成している。	ご利用者の様子やのかかわり方を全職員が時系列で記録します。そうした情報を基に介護計画が作成されます。作成された計画は随時関係職員へ説明され実行されます。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録を使用し、具体的な様子や場面、職員の関わり等を記録し情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者の要望に応じて買い物や散歩に出かけたり行事を企画し様々なニーズに応えられるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアや地域の中学校より職場体験などの受け入れを行うことで地域の方々との交流する機会が作られている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望されるかかりつけ医を継続して利用出来るよう支援している。	協力医により月に2回の往診が行われています。協力医以外の受診は原則的にはご家族が付添いを行います。施設での状況を伝えるために職員が立ち会うなど、状況に応じて対応をされています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	状態の変化などその都度事業所の看護師や協力医へ情報を伝え対応等の相談を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご本人の現状と今後の予測出来る状態について看護師や主治医と情報交換や相談を行い早期退院に向けて出来る限り努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご利用者の状態に応じてご家族や医療機関と相談しながら支援の方針を検討している。	協力医と連携を取りながら毎年2～3名ほどの看取りをされています。また施設的人員的な制限はありますが、在宅酸素療法やバルソテールなど医療依存度の高い治療をされている方の受け入れもされています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時に対するマニュアルを設けたり緊急連絡先を設けたりしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回消防署の指導を受けながら防災訓練を実施している。	施設のリフォームにより、2階からの避難経路として非常階段の他に滑り台が設置されました。運営推進会議に避難訓練を行うなど地域を巻き込む工夫をされ、緊急時には電話にて応援を依頼できる体制がとられています。	現在賞味期限が来たことによる入れ替え中であり、備蓄はない状態となっています。いつ起こるか分からない災害に備えるため、早急な備蓄の再整備をされることを期待致します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人のプライバシーを損ねることのないよう個人情報については実施して管理を徹底している。	個人情報漏洩防止のため、職員への誓約書の作成や研修の実施、記録物は鍵付きの棚に保管されるなどの対応をされています。入浴時にはご利用者に対して必要以上に一緒にいない、体をタオルで隠す等羞恥心への配慮をされています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人の状態に合わせた働きかけを行い出来る限り自己決定して頂けるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様一人一人のペースを大切にしながらその方の希望される生活が送れるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	床屋への予約や付き添いを行ったり日ごろから着替えの際にご本人に着たい服を選んで頂く等その方の好みに合わせた身だしなみが整うように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事づくりを細かく分担し一人一人出来ることをお願いし一緒に行っている。	食事の盛り付けや味見など調理に参加できる工夫をされます。ご利用者の誕生日にはその方が希望する食事を提供し皆で祝うなどのイベントをされ日常に力をつけています。その際寿司や刺身などが人気で、食事を提供する直前に近隣の店から配達を受けるなどの協力が得られています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の食事量を把握し食事の携帯や盛り付ける量を工夫し美味しく食べれるようしえんしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	就寝前にはご利用者に応じた口腔ケアを行っている。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表から一人一人の排尿パターンや習慣を把握している。	排泄パターンを把握されることで一人ひとりの排泄習慣に合った声掛けが可能となり、リハビリパンツから布パンツの使用へ改善されたケースがあります。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取を積極的に行い必要時に応じて乳製品や食物繊維の豊富な物をおやつに勧めたりしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	時間や曜日などは決めずご本人の希望やタイミングに合わせて入浴が出来るよう支援している。	入浴は毎日実施され、必要な介護量にもよりますが、希望されれば毎日でも入浴が出来るような体制を目指されています。一方の浴槽はリフト浴が完備され歩行が出来ない方も制限することなく浴槽へ入ることができます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居前の生活習慣を把握し馴染みの寝具や時間帯で入眠できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	目的、副作用、用途、容量が記載された処方箋を個人の記録へファイルし閲覧することで理解に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の得意なことを活かし役割や楽しみが持てるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出は特に制限はしておらず自由に買い物等出掛けられるよう支援している。	ご利用者から買い物や散歩などの要望があった時にはスタッフ間で連携し対応されています。施設の裏手に遊歩道があり、公園や隣接する同法人の施設へ立ち寄るなど、日常的に散歩をされています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人一人の状況に合わせてご自身で管理できる方にはお金を所持していただいている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事業所の電話を使用して頂いたり、手紙を書く支援をしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の行事を取り入れ楽しく季節感を感じることが出来るように努めている。	施設内は白を基調として明るい雰囲気であり、重厚感のある木製のテーブルや椅子を使用しています。鏡餅や雛人形など季節ごとの行事にまつわる物や季節の花を飾ることで季節感の演出をされています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	狭い空間ではあるが一人一人が安心出来る場所や一人に慣れる居場所作りを行う工夫をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていた家具などをおもちゃいただくようお伝えし本人の希望に合わせて配置できるようにしている。	居室は6畳の広さで、家具は全て持ち込みとなり、介護用ベッドが必要な場合は希望により業者からのレンタルが紹介されます。リフォームを機にカーテンから障子に変更したことで柔らかな日差しが入るようになりました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室に表札を付けたリトイレだとわかるよう目印をつけるなどして確認しやすくなるように工夫している。		